



【運輸部】

『C to Seaプロジェクト』 ご当地アンバサダー

「海への理解を深めていただくための取り組みを行いました」

No.11

国土交通省では「C to Seaプロジェクト」として、子どもや若者をはじめとして、より多くの人に海や船の楽しさを知ってもらうため、マリネレジャー体験などの海に触れる機会の促進や、海事・海洋に関する情報発信などを推進する取り組みを行っています。



海と船の楽しさを伝え、ナビゲーションする役割として『C to Seaプロジェクト』ご当地アンバサダー（※）が全国各地で任命されることとなり、沖縄総合事務局においては、歴代の那覇観光キャンペーンレディで組織する「那覇観光アンバサダー」に決定し、7月19日に任命式を行いました。

『C to Seaプロジェクト』ご当地アンバサダーの初仕事として7月29日、泊埠頭で那覇渡名喜久米島航路を運航する「フェリー海邦」の一日船長にご就任いただき、船内の点検、巡視を行いました。最後に、船長をはじめとする乗組員に



一日船長を囲み記念撮影

向けて日頃の人流、物流の担い手として尽力されていることへの感謝と、「健康に留意されて今後も安全運航をお願いします。」とのコメントがありました。



一日船長（滝田まな氏）による船内巡視

今後『C to Seaプロジェクト』ご当地アンバサダーは、様々なイベントへの参加を通して、多くの方に海や船に関する情報発信しながら『C to Seaプロジェクト』の取り組みを進めていきます。



※C to Seaプロジェクトご当地アンバサダー
国土交通省において、平成30年2月に「STU48」がアンバサダーに任命。地方でもご当地アンバサダーを任命し、中国運輸局、神戸運輸監視部に続き、沖縄は3番目。

運輸部総務課

098-866-1836



【運輸部】

令和元年度陸運関係功労者 陸運事務所長表彰式

No.12

6月17日、「令和元年度陸運関係功労者表彰式」が沖縄総合事務局陸運事務所において行われました。

本表彰は、自動車関係事業（バス、タクシー・トラックなどの自動車運送事業や自動車の整備事業、販売事業など）に従事する役員、従業員で当該事業の発展に寄与するなど、顕著な功績があった方や永年にわたる業務に精励し、他の模範となる方に対して、毎年行われています。

今回の表彰は、事業役員4名、従業員3名、自動車運転者10名、自動車整備士8名、運行管理者5名の計30名の方々に對して、陸運事務所長（宮里正吉）から表彰状が授与されました。

表彰式では、陸運事務所長の受賞者への激励の挨拶、表彰状の授与、最後に、受賞者を代表して、沖縄バス株式会社の玉城勝也氏が「諸先輩をはじめ関係者の皆様のこれまでの

励ましとご指導・ご鞭撻に心から感謝し、今後も尚一層業務に精進し、次代を担う後輩の育成にも全力で取り組んでまいります。」と謝辞を述べました。



受賞者（自動車整備士）との記念撮影

陸運事務所

098-877-5140